

refresh

「海外旅行の全てを
劇つくりのヒントに」



タオ・エンターテイメント 社長

藤高 郁夫

私にとっては趣味と実益を兼ねる海外旅行が好きだ。フラットに行くことも多く、年4回は足を運ぶ。旅先は和太鼓集団「DRUM TAO (ドラム タオ)」を運営していることもあり、エンタメ産業が盛んな地域を選ぶことが多く、ラスベガスやニューヨーク、韓国などを何度も訪れている。

旅先では必ずと言っていいほど、劇場に足を運ぶようにしている。特に「シルク・ドゥ・ソレイユ」が好きで、通算30回は観劇している。シルクは多くの劇団の中でも、心に響くストーリー構成でとても引き込まれる。さらに、劇中での四季表現が秀逸で、元オリンピック選手も在籍していることから繊細で躍動的な演技には目を見張るものがある。演目の一部で和太鼓が使われているのを初めて見たときは感動したものだ。

また、旅先での宿泊はサービスレベルの高い施設に泊まるようにしている。単に高級だからというわけではなく、心のこもったサービスにはエンターテインメントの「人を喜ばせる」という共通点があるからだ。今のTAOの演劇を支えるエッセンスを海外旅行からたくさんもらっている。

悲しいことに新型コロナウイルス感染拡大の影響で「シルク・ドゥ・ソレイユ」の破産が報じられている。新しいスポンサーを募り経営再建を図っていくようなので、期待しながら応援もしていきたい。また、TAOの専属アーティストとともに年1回の海外研修旅行も行っていたが、足を運べない状況が続く。早期のコロナ収束を願いながら、当社を含めたエンタメ業界の振興に力を注いでいきたい。

こども食堂で「納豆ショコラZERO」 佐賀県江北町

佐賀県江北町が7月4日に開催した「こほくこども食堂」で、同町と連携し、同町産無農薬大豆を使った納豆の健康食品を企画販売するそのもの(福岡市)と、チョコレートの「博多の石畳」などで知られる老舗洋菓子店チョコレートショップ(同)が共同開発した「納豆ショコラZERO」が披露された。

納豆ショコラZEROは、そのもののフリーズドライ納豆「おつまみ納豆」をトッピングしたチョコレートで、砂糖や添加物は不使用。ラズベリー入りのノワール(フランボアーズ)と、ナッツ入りのミルクの2種類があり、腸内環境を整える働きがあるという。当日は、チョコレートショッ



レーダー
Radar